

基本構想(案)に対する議会意見及びその対応
 (宝塚市総合計画に関する調査特別委員会(令和2年2月14日開催))

資料2

【案件】第6次宝塚市総合計画基本構想(中間答申)について

No	区分	委員会 意見	市の対応、考え方
1	全般(P6～)	めざすまちの姿と現状認識について、素案の方がシンプルで見やすい印象。素案のように市民ワークショップ「タカラ ミライラボ」から矢印を出した方が、独立性を感じることができる。デザインに関してはどうか。	当該デザインについては、現状認識と提言書からめざすまちの姿が導かれていることを示すものであり、審議会でもご議論いただいているため、大きなデザインの修正は考えていません。
2	全般(P6～)	例えば、施策分野の番号が白抜きになっているが、その辺の細かいデザインは決定しているのか。	デザインについては、冊子にする段階で、改めて検討したいと考えています。
3	全般(P6～)	現状認識について、方向性まで示すような言葉が書いてあり、入れ過ぎているのではないかとこの感触を持った。全体的に詰め込み感があり、素案の方が見やすい感じがする。	現状認識については、ほとんどの末尾を「～求められている」とし、めざすまちの姿につながるような表現としています。詰め込み感については、スペースの問題もあるのでやむを得ないと考えています。
4	P5、P11 めざすまちの姿	「宝塚らしい“にぎわい”と文化芸術があふれる、創造性豊かなまち」と「豊かで美しい環境を育むまち」で濃淡、調子が違うように感じる。「創造性豊かなまち」まで入れている意味を説明していただきたい。ここだけが非常にカラフルに見える。	市民ワークショップの提言書の言葉を尊重しながら、市として大事にしていきたいキーワードを入れていきます。関連する分野別計画(観光、商工業、農業、文化芸術等の各分野別計画とその上位ビジョンとなる産業振興ビジョン)において掲げる予定である内容とも整合を図っています。なお、宝塚市産業振興ビジョンでは「創造都市・宝塚の実現」に向けて、『本市が有する創造性・革新性の源泉を活用し、新たな視点で産業振興に取り組むことで、市民や事業者の誰もが生き生きと働き、暮らし、活動すること』などを明記する予定です。
5	P6「人権・男女共同参画」	施策分野名にある部落問題の文言については検討していただきたい。人権という大きなくりの中に入れ、現状認識に詳しく書くほうが分かりやすいのではないかと思います。	施策分野名を「人権・男女共同参画」とし、基本計画【各論】の施策の方向性において、関係法令、市の方針、総合計画審議会、調査特別委員会の意見等から、「部落差別」の文言で整理しています。また、基本構想(案)〈中間答申〉の現状認識、基本計画【各論】の現状と課題では、様々な人権問題をそれぞれ記述することが文字制限、見やすさから難しいことから、人権全般について記述し、基本計画【各論】の施策の方向性において、「部落差別」が人権問題の重要な柱でもあることから例示するように整理しています。
6	P6「人権・男女共同参画」	「同和」から「部落問題」に変わっているが、市民から見るとどうか。なじんでいる言葉を改めて「部落問題」と明記する必要があるのか。誤解が生じるのではないかと。	
7	P6「人権・男女共同参画」	部落問題は概念が曖昧。市民から見ると理解しやすい計画、文言にする必要がある。部落問題と書くと、いろんなことがどうなのかと思うので、検討していただきたい。	
8	P6「人権・男女共同参画」	人権が都市経営の中に入り、横串を通してという面では、昇格したという印象を持った。人権や男女共同参画が全てに関わってくるのだというふうな位置づけをされたことは一定評価するものの、部落問題というのは、この書き方でこの場所にいれるというのは違和感がある。そうであれば、人権・男女共同参画の現状認識の中で部落問題のことも具体的に書かれるべきではないか。差別解消に向けた法整備というのは、何の差別に向けた法整備かというのがつながらない。ここに部落問題というのを書き込むべきではないかと思った。多様化する人権問題への認識というところも、素案の時のような女性の問題であったり、もう少し具体的なことが入ってこない、昇格させた意味合いが分かりにくいと思った。どこかに人権という言葉が目立った方が良いと思う。	
9	P6「人権・男女共同参画」、現状認識	素案にあった「DV相談件数は増加傾向にある」「インターネットによる人権侵害が発生している」は現状認識だと思う。また、「ワーク・ライフ・バランスや性的マイノリティ、在日外国人との共生に対する社会の意識が高まっている」もなくなっているが、なくしたのはなぜか。	文字制限や見やすさの問題があり、また、都市経営に入れたことで、2～6の分野ごとのめざすまちの姿全部を踏まえて表現する必要があるとの考えのもと、中間答申のような表現がふさわしいのではないかと考えています。

No	区分	委員会 意見	市の対応、考え方
10	P7 「土地利用」	北部整備について、農家レストランを開業されているところもある。土地利用規制緩和についての文言を入れてはどうか。	「土地利用規制の緩和(土地利用規制の弾力的運用)」の文言について直接の記載はしていませんが、基本計画【各論】「土地利用」において「北部地域の活性化に向けたまちづくりの推進」を施策として掲げています。
11	P8 「健康・医療」、めざすまちの姿	素案と中間答申で順番が入れ替わっている文言がある。保健、医療、福祉の連携が進むことで、在宅でも適切な医療を受けられる環境が整うといえるのではないかと。	保健と医療と福祉の分野の連携が進むことだけで、病院、診療所、在宅における医療の役割が明確になり環境整備ができるわけではなく、それぞれの医療の役割を整えることで、それに応じた保健、福祉との連携がより一層進むと考え、前後を入れ替えています。
12	P9 『子ども・教育』	「～教育・子ども・人権～」から「～子ども・教育～」と、人権の言葉が消え、都市経営の中で「人権・部落問題・男女共同参画」が出てきており、格下げしている感じがする。	すべての分野に共通するめざすまちの姿である都市経営に、「人権・男女共同参画」を位置づけました。格下げしたわけではなく、施策全ての根底に人権を置くことによって、一施策としてではなく、より重要な視点として整理したものです。
13	P9 「児童福祉・青少年育成」、現状認識	「児童福祉・青少年育成」に子育て支援まで全部入っている。現状認識はもう少し分けた方が分かりやすいのではないかと。詰め込み感がある。	「児童福祉」と「青少年育成」については、両分野の関係が深いことや、次世代育成支援行動計画でも、子育て支援や子どもの育成を包含した計画としていることから一括りにしています。このため、現状認識についても、レイアウトの問題もあり、網羅した表記としています。
14	P9 「学校教育」、現状認識	学校と地域と家庭が一体になることが強く求められているが、それを無理に「学校教育」に入れてしまうのはどうか。むしろ「学校教育」から外した方が分かりやすいのではないかとと思う。	これからのまちづくりにおいては、地域で子育ての意識を持っていただくことは大変重要であると認識しており、基本計画【総論】(素案)の重点方針④「子どもがいきいきと育ち、子育て世代に選ばれるまちづくり」において、地域社会全体の子育て意識の向上を掲げています。また、基本計画【各論】(素案)では、「学校教育」の分野のみならず、「児童福祉・青少年育成」において、家庭や地域の子育て力の向上を掲げており、それぞれの分野で意識しながら、取組を進めていきます。
15		「緑花」と表現してはどうか。	意見を受けて、以下のとおり修正したいと考えています。
16	P10 「緑化・公園」	花があふれるまちづくりは非常に魅力のある言葉。緑の中に花が入っているという概念は理解しにくい。	【めざすまちの姿】 「まちをつるおす「みどり」の整備…」の「みどり」に以下のとおり注釈を入れます。 本計画における「みどり」は、「公有地・民有地」を問わず、樹木や草花などの植物、植物を含む土地や空間及びこれらと一体となった水辺やオープンスペースなどを指す。 【施策】 (2)緑豊かで美しく潤いのある都市空間形成の推進 ↓ (2)花と緑が豊かで、美しく潤いのある都市空間形成の推進
17		素案にあった「環境・経済・社会の良好なバランスと秩序を保った、持続可能な社会システムの構築が求められている」が消えているが、消してしまっても良いのか。	意見を受けて、以下のとおり修正したいと考えています。
18	P10「環境」、現状認識	環境・経済・社会のバランスは大事なことだと思う。目指すべきところであると思うので、何とかこの文言を入れていただきたい。	【現状】 「⑤里地里山・まち山など、自然豊かな環境を有し、魅力の一つとなっているが、人とのつながりの中で生きてきた動植物の絶滅が危惧されている。生物多様性が保全され、人の営みと自然をつなげていくことが求められている。」 ↓ 【修正案】 「⑤里地里山・まち山など、自然豊かな環境を有し、魅力の一つとなっているが、人とのつながりの中で生きてきた動植物の絶滅が危惧されている。地球温暖化を防止するなど、持続可能な社会システムを構築することにより、生物多様性が保全され、人の営みと自然をつなげていくことが求められている。」
19		宝塚市が国際観光都市であることを踏まえ、第6次総合計画を作っていただきたい。	西谷全体の人口、暮らしやすさが担保されないと、農業の成果目標を達成するのも難しいため、農業や観光を個別に考えず、横串にさして全体で盛り上げていくことが大事だと思ひ、産業の共通のキーワードとして「創造性豊かなまち」を出しています。決して国際観光都市という看板を下ろしたわけではなく、産業全体で頑張っていきたいと考えています。
20	P11 「観光」	オリンピック、パラリンピック、万博といった大きな催しに宝塚市も便乗し、交流人口を増加させていかなければ、国際観光都市の意味がないのではないかと。	また、新型コロナウイルスの感染拡大により、インバウンドに期待できない状況にありますが、一時的な停滞であり、徐々に回復することを期待し、コンテンツ開発などには継続して取り組んでいます。 策定を行っている「観光集客戦略」では、国内外にも受け入れ易い「ウェルネスツーリズム」をメインテーマに進めています。

No	区分	委員会 意見	市の対応、考え方
21	P12 計画の推進に向けて	「双方の調整を図りながら進めていく仕組みを構築する」と記載されているが、先にその仕組みを示す必要があるのではないか。仕組みづくりの議論に時間を費やし、結局進まず、曖昧になる可能性があると思う。	地域ごとのまちづくり計画の進捗管理については、まちづくり協議会の代表者で構成するまちづくり協議会代表者交流会で、今後の進捗管理等に関する意見交換等を今年度の重点項目として取り組まれることとされており、また市においても市長の附属機関である宝塚市協働のまちづくり促進委員会に検討部会を設置し、今年度末を目途に取りまとめることとしています。 市の取組や予算への反映については、引き続き検討していきます。
22		地域の計画への期待感は大いと思うので、できるだけ市の施策に反映していく必要がある。一生懸命計画をつくったにも関わらず、取組が進まないとなると逆に市政に対する期待感、信頼性がなくなる。そのあたりをしっかりと認識し、文案化してほしい。	